

NPO 法人「飛んでけ！車いす」の会

2022 年度 事業報告書

(海外事業)

1) 車いす輸送事業

① 車いすを届ける

本年度は海外に 92 台の車いすを届けました。船便コンテナでカンボジア、タイへ送るご協力もいただきました。海外に車いすを送る団体とのつながりで、モンゴルに 10 台、戦乱のウクライナへ 30 台送りました。スリランカで活動している高臣財団を通じて 20 台の車いすも提供しました。個人旅行者も戻ってきており 3 月末までに、ネパール、フィリピン、ベトナム、タイなどに 19 台の車いすを届けています。国内貸し出しは 15 台ありました。

② 提供された車いす

本年度は、個人や 14 団体から 117 台を提供していただきました。

③ 車いす整備と車いすコーディネート

整備ボラ 14 名は毎週火曜日と第 1・第 3 土曜日に活動しています。コーディネートの活動は学生ボラ 2 名を含め 4 名が適切な車いすを届けるために活動し、細かいニーズに対応しています。

2) JICA 草の根技術協力事業 (カンボジア)

カンボジア・プノンペンで 1/31-2/3 と 2/28-3/3 に車いす整備ワークショップを開催しました。参加は 4 団体から車いすユーザやスタッフ計 32 名で、整備技術知識が高い人もおり、協力しながら進めました。

(国内事業)

1) 「車いすの学校」活動

北海道未来社会システム創造事業の助成事業の『「車いすの学校」を活用した“三方よし！”の社会的弱者支援』として実施、終了しました。開講は 23 回、受講人数延べ 104 名参加でした。修了生は 9 名でした。

2) コロナ後の飛んでけ活動再構築 (ブリチストン BSmile 事業)

コロナ前とは違っている、車いすの受け渡し場所の確保、大きさ制限の緩和、車いす保管所設置、各地の空港での車いす受領方法の確定など、基本的な活動を安定的に行うための活動を札幌、東京などで行いました。

3) 続「車いすトイレマップ作成」(北海道青少年活動元気づくりプロジェクト助成～学生の会へ)

オリンピック期間中に作成した「車いすトイレマップ」英語版の更新作業をしました。

(広報活動)

① 会報「とべとべ」の発行 86、87、88 号を発行しました。また、ホームページ、Facebook、Instagram、メールマガジンなどでも発信をしました。北海道新聞に 4 回、読売新聞、介護新聞等に掲載されました。

② 講演活動

北海道大学、北星学園大学短期大学部、上智大学、月寒中学校、北野高校、JICA 教職員研修会などでお話しました。

③ カレンダープロジェクト

寄付カレンダーを札幌駅地下歩行空間で販売、麻糬カレンダー、車いすカレンダーの販売もいたしました。

(開催イベント)

① 「車いすで働く」イベント

9/17 に車いすユーザ 2 名から体験発表とパネルディスカッションの会を開き、意見交換しました。

② 「ハロウィーンパーティ」イベント

米国人理事のアイディアあふれる本場のパーティイベントを 10/23 に開催しました。

③ 米国人による英会話研修会 5 名が参加して全 10 回の英会話研修会を開催しました。